

株主の皆様へ

FUJI NIHON SEITO CORPORATION

第 **97** 期
事業報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

 **フジ日本精糖株式会社**

証券コード：2114





株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々、ご遺族の皆様にご静かに哀悼の意を表すとともに、感染された方々や様々な困難に立ち向かっていらっしゃる方々が一日も早く回復されますよう心よりお祈り申し上げます。

フジ日本精糖株式会社の第97期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、グローバル化が進んだ現代社会においては、人々の往来や、モノの流れが、いかに世界中で密接に繋がっているかということを感じさせられました。また、人と人との接触やコミュニケーションが制限されたことから、我々の生活様式、働き方なども大きく変更を余儀なくされた一方で、人と人の繋がり大切さ、働き方の工夫を改めて考え直す契機にもなりました。

新型コロナウイルスとの闘いは、ワクチンや治療薬の開発を視野に入ると道半ばであるかも知れませんが、ようやく光明も見え始めてきました。とにかく、前を向いて、一歩ずつ前に進んで行けば、この苦境は必ずや乗り越えられると信じています。当社としては、まずは、今できること、「食」の供給を担う企業として、取扱商品の安定した供給を通じて、会社としての社会的責任を果たしてゆきたいと考えております。

そして、笑顔とともにある日常生活を取り戻す、その時に備え、今の内から新たな商品・ビジネスの取り組みの準備を行い、将来的な成長の機会をとらえてゆく所存です。

株主の皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 櫻田 誠司

企業理念

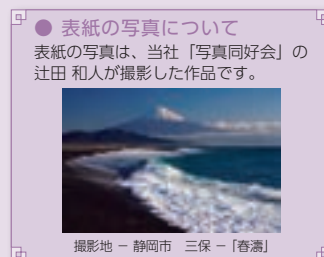
私たちは、「夢のあるたくましい会社」を目指し、健康な生活づくりに貢献します。

CONTENTS

| | | | |
|-----------|-----------|-----------------|-----------|
| ごあいさつ | P 1 | 会社概要／株式情報 | P 9 |
| トップインタビュー | P 2 | 株主メモ／ホームページのご案内 | ... P10 |
| セグメント別の状況 | P 5 | 株主ひろば | 裏表紙 |
| 連結財務諸表 | P 7 | | |

経営方針

- ① 顧客第一主義の徹底
- ② 会社の発展と共に社員が成長する企業文化の形成
- ③ 公正で透明性のある企業活動の推進
- ④ 社会に評価される企業価値の向上
- ⑤ 社会に貢献する企業市民活動の充実



● 表紙の写真について
表紙の写真は、当社「写真同好会」の辻田 和人が撮影した作品です。

撮影地 - 静岡市 三保 - 「春灘」

「食」の供給を支え、社会とともに危機を克服。

代表取締役社長 櫻田 誠司

Q 当期（2020年3月期）の営業状況をご説明願います。

A 精糖事業と連結子会社ユニテックフーズ株式会社は、減収。「イヌリン」販売は国内・海外ともに順調に拡大しました。

当期は「イヌリン」の販売が国内・海外ともに拡大したものの、主力の精糖事業において、販売数量が予想を下回り、連結子会社ユニテックフーズ株式会社の業績も前年同期を下回ったことから、減収となりました。利益面では、物流費の上昇による影響を受けましたが、精糖事業における原材料コストの削減や生産合理化の効果が表れ、また前期に減損損失を計上したタイ連結子会社の業績改善も寄与し、増益を達成することができました。

結果として連結業績は、売上高189億58百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益14億91百万円（同10.5%増）、経常利益16億44百万円（同4.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益11億97百万円（同248.0%増）となりました。

精糖事業は、海外原糖相場では、生産国の減産を背景に世界需給が逼迫するとの見通しから、2019年度下半期には、上昇基調を迎えるも、期末にかけ新型コロナウイルス感染拡大懸念からリスクオフの動きに転じると一転急落するという荒い値動きとなりました。一方、国内製品価格は、期中を通じて、ほぼ持ち合いとなりました。販売数量においては、上半期において、梅雨寒やその後の急激な猛暑などの天候要因を受けて飲料関係や菓子関係を中心に低調に推移、下半期にユーザー・特約店中心に巻き返しを図りましたが、通期では、前年同期実績を下回りました。

しかしながら、物流コストの上昇はあったものの、原糖をはじめとする原材料コストの圧縮を行い、以前から進めている生産合理化、採算を重視した販売に努めたことから、利益は、前年同期実績を上回ることができました。

機能性素材事業のうち、ユニテックフーズ株式会社の営業状況は、主力製品の内、ゼラチン・コラーゲン等の販売が減少しましたが、その他製品の販売は、おおむね堅調に推移しました。

一方「イヌリン」の国内展開は、機能性食品表示（整腸作用、

血中中性脂肪の低減効果、食後の血糖値上昇抑制効果）の取得によって、「イヌリン」の知名度の向上とともに大手ユーザー向けの採用が拡大したことに加え、低糖質素材およびたんぱく質摂取強化素材として評価され、販売数量を伸ばすことができました。「イヌリン」の製造拠点であるタイ連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.は、日本向け販売が増加する中、海外においても東南アジア中心に販売を伸ばし、業績を大きく改善することができました。東南アジアでは、主に食物繊維強化の用途として採用が進み、タイ国内やフィリピン、インドネシアの大手ユーザーを中心に、粉末乳製品および豆乳飲料向けの販売が拡大しました。また、ベトナム・韓国・マレーシア等においても「イヌリン」販売がスタートしています。

その他食品事業のタイ連結子会社DAY PLUS (THAILAND) Co., Ltd.によるパン製造・販売は、タイ国内および周辺国における販路は増えて来ているものの、パン既存製品だけでは、販売数量の伸びが限られ、黒字化には至りませんでした。かかる状況下、2019年年末からロングライフ・ケーキ製品の生産・販売を開始し、品揃えを増やして、業績改善への取り組みを強化しました。

Q 中期経営計画の進捗と今後についてお聞かせください。

A 計画初年度は、非砂糖分野の拡大と海外展開において着実に成果を上げ、好スタートを切りました。

当期から始動した中期経営計画は、基本戦略として「非砂糖分野のさらなる拡大」「輸出入・三国間貿易による海外への挑戦」「社員教育の強化と新人事制度の導入」「ESG（環境・社会・ガバナンス）経営の推進」の4項目を掲げ、その遂行を通じて、事業環境の変化に対応し、独自に成長を持続できる会社を目指すものです。今後、3ヵ年計画を每期ローリングさせる形で1年ごとに見直し、業績目標を再設定してゆくこととしました。

計画初年度を振り返りますと、基本戦略の進捗状況としては、国内・海外における「イヌリン」の販売が順調に増加し、「非砂糖分野のさらなる拡大」および「輸出入・三国間貿易

による海外への挑戦」における成果を上げています。また、連結子会社の協立食品株式会社が進めている乳製品原料の輸入ビジネスも今後の成長が期待できる分野です。

内部施策では、「働き方改革」に沿って、長時間労働の低減に向けて就業システムを導入し、業務効率や管理体制の改善を図る取り組みを実施しました。これらの社内整備を踏まえ、今期（2021年3月期）からは「新人事制度の導入」を決定し、人材の育成と柔軟な人材活用を本格的に進めていきます。「ESG経営の推進」については、これまで同様に事業活動における環境負荷の低減に努め、社会支援・地域貢献のさまざまな取り組みを継続しつつ、経営の健全性・透明性を担保すべく、コーポレートガバナンスの実効性をさらに高めていく方針です。

今回のローリング・ベースでの3ヵ年計画では、今期（2021年3月期）を初年度とする3年後の2023年3月期の業績目標として「売上高226億円」「営業利益17億50百万円」「経常利益19億円」「親会社株主に帰属する当期純利益13億80百万円」を定めました。ベース事業である精糖事業において砂糖消費の漸減傾向が続く中、いかにして売上の減少に歯止めをかけ、同時に「イヌリン」の国内・海外における販売をどれだけ伸ばし、その他の機能性素材や輸入食品原料とともに非砂糖分野を拡大していけるか、それが目標達成のカギとなります。またユニテックフーズ株式会社は、主力製品の天然素材群、健康・介護分野における開発製品に加え、新たな機能性素材で、今後、拡大が期待されるHBS（ヘルス・ビューティー・スポーツ）分野の開拓に注力していきます。

Q 2021年3月期の見通しはいかがですか？

A コロナウイルス感染症の影響により見通しが困難ですが、今のところ増収・減益を見込んでいます。

現在、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、すべての人々の日常生活やあらゆる産業に深刻な影響を及ぼしています。当社事業を取り巻く環境においても、消費者の行動や原糖をはじめとする各種原材料価格および製品価格の変動、コスト要因やサプライチェーン・物流の状況など、さまざまな直接的・間接的影響が拡がり、先の見通しが極めて困難な状況となっています。

そうした中で当社は、「食」の供給を担う企業としての社会的責任を果たすべく、事業活動の維持・継続に努め、生産現場における衛生管理はもちろんのこと、出社人数の制限や在宅勤務の導入など、社内の感染防止対応を徹底するよう、心がけています。引き続き情勢を注視しつつ、迅速かつ確かな経営判断を行い、対処してまいります。

今期（2021年3月期）の連結業績予想については、新型コロナウイルス感染拡大の影響によって見直しを余儀なくされる可能性があります。今のところ売上高190億円（当期比0.2%増）、営業利益11億50百万円（同22.9%減）、経常利益13億円（同21.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益9億円（同24.8%減）を見込んでいます。

当社は、老朽化が進んだ茅場町本社ビルを建て替え、

2020年10月に本社オフィスを近隣の兜町に移転する予定です。今期の業績予想においては、新型コロナウイルスの影響の他に、この移転・撤去にかかわる費用の発生も減益要因として想定しています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A 事業活動の維持・継続に尽力し、「食」の供給を担う企業としての社会的責任を果たす所存です。

新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大という災厄に見舞われ、株主の皆様におかれましては様々な困難、不安を感じつつ、毎日をお過ごしになっていらっしゃるかと拝察し、胸が痛む思いです。

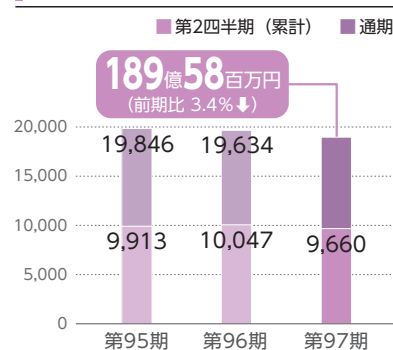
先に述べました通り、当社はこの危機を乗り越えるべく、事業活動の維持・継続に尽力し、「食」の供給を担う企業としての社会的責任を果たしてゆく所存です。事業環境はかつてなく厳しさを増し、予断を許さない状況にありますが、遠からず新たな希望の光が差し込み、生活の立て直しと産業・経済の復興を果たす日が来ることを強く祈念しつつ、その後の社会の繁栄を「食」の豊かさによって支えることができるよう、努力し続けてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業へのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

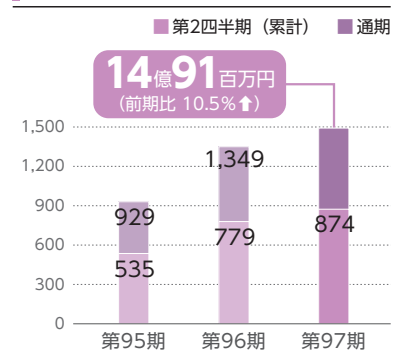


連結業績ハイライト

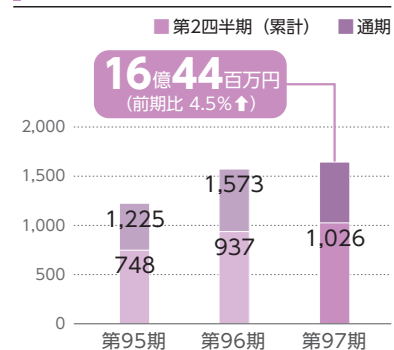
売上高 単位：百万円



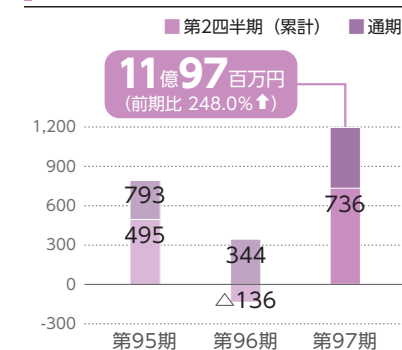
営業利益 単位：百万円



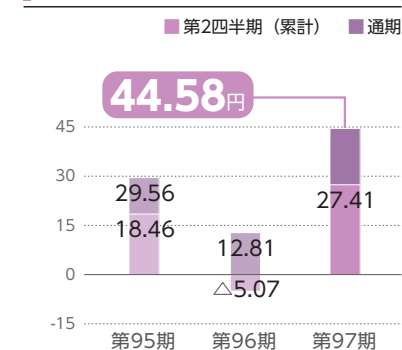
経常利益 単位：百万円



親会社株主に帰属する当期純利益 単位：百万円

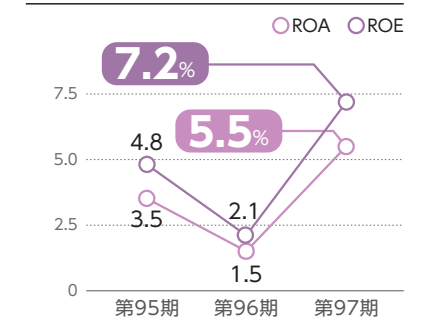


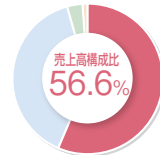
1株当たり当期純利益 単位：円



CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS

総資産利益率 (ROA)
自己資本利益率 (ROE) 単位：%





精糖事業

事業内容：精製糖、砂糖関連製品の製造販売を行っております。

当期の概況
売上高：10,727百万円
営業利益：1,579百万円

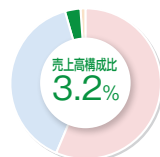
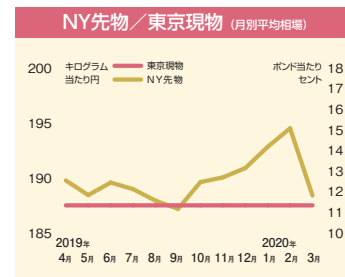
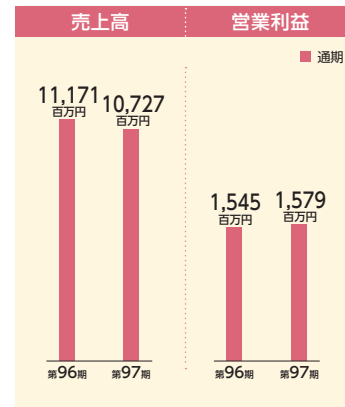
精糖事業につきましては、海外原糖市況は、ニューヨーク先物市場が期初12.53セント（1ポンド当たり）で始まり、タイ・インドをはじめとする主要生産国での減産を受け、足元の世界需給が逼迫するとの観測から上昇すると、2月12日に15.90セントを付けました。しかし、その後、新型コロナウイルスの世界的な蔓延拡大によりリスクオフの動きに転じると急落し、10.42セントまで下げて期末を迎えました。

ニューヨーク市場先物相場（セント/ポンド当たり）の動き

| 期初 | 高値 | 安値 | 期末 | 平均 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 12.53 | 15.90 | 10.40 | 10.42 | 12.57 |

一方、国内製品市況は期初東京現物相場（日本経済新聞掲載）187円～188円（上白大袋1キログラム当たり）で始まり、そのまま期末を迎えました。製品の荷動きについては、期初は5月のゴールデンウィークが10連休となったことから4月は順調に推移したものの、その後は梅雨寒が長引いたこと、冬場の暖冬傾向や加糖調製品の浸食により飲料関係や菓子関係を中心に減少となり、さらに年明けには新型コロナウイルスの感染症拡大の影響から消費が落ち込み、販売数量は前期を大きく下回りました。しかしながら、堅実で安定した原料糖仕入れを図り、さらなるコスト削減に努めたことなどにより、営業利益は増益となりました。

この結果、売上高は10,727百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は1,579百万円（同2.2%増）の減収・増益となりました。

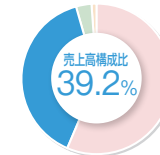


不動産事業

事業内容：当社が所有する土地建物の賃貸およびその他不動産関連事業を行っております。

当期の概況
売上高：601百万円
営業利益：512百万円

不動産事業につきましては、売上高は601百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は512百万円（同5.6%減）の減収・減益となりました。



機能性素材事業

事業内容：機能性食品素材、食品添加物、切花活力剤等の製造販売、果実加工原料の販売を行っております。

当期の概況
売上高：7,432百万円
営業利益：320百万円

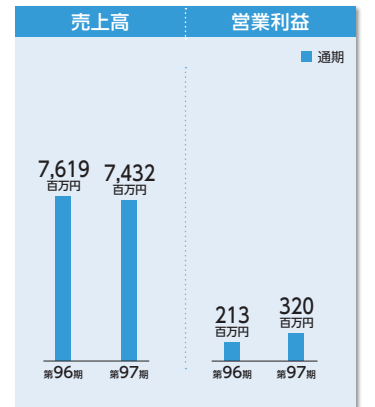
機能性素材事業につきましては、機能性食品素材「イヌリン」は、当社製品を使用した機能性表示食品が大手ユーザーで採用されてきたことに加え、低糖質素材およびたんぱく質摂取強化素材として評価され、販売数量は前期比で増加しました。

海外においては、タイ国および周辺国での販売に注力した結果、粉末乳製品、豆乳飲料等に食物繊維強化素材として採用され、販売数量を大幅に伸ばすことができました。

切花活力剤「キープ・フラワー」は、切花消費の不振の影響がありましたが、引き続きBS放送でのテレビCMによるブランド強化を図るほか、業務用新製品を投入するなど販売に力を入れた結果、増収となりました。

連結子会社ユニテックフーズ株式会社におきましては、主力商品であるゼラチンの販売数量の減少があり、他商品の販売に注力しましたが、減収となりました。

これらの結果、売上高は7,432百万円（前年同期比2.5%減）、営業利益は320百万円（同50.0%増）の減収・増益となりました。



その他食品事業

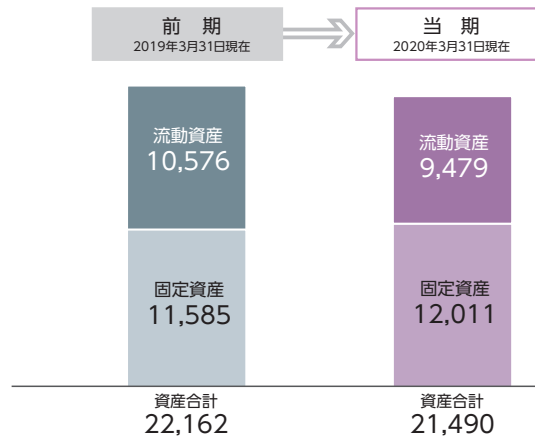
事業内容：タイ国においてパンの製造販売を行っております。

その他食品事業につきましては、タイでの食品関連事業が中心ですが、売上高は198百万円（前年同期比13.4%減）、営業損失56百万円（前年同期営業損失91百万円）の減収・増益となりました。

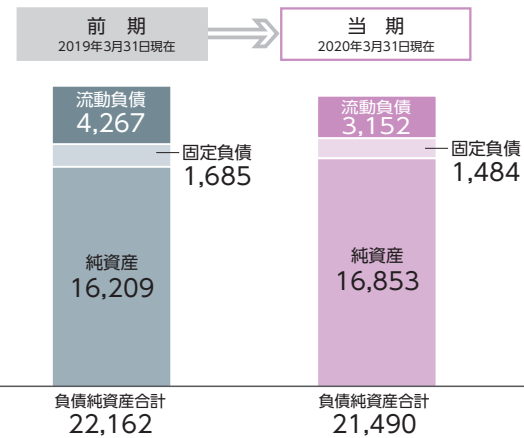


連結貸借対照表

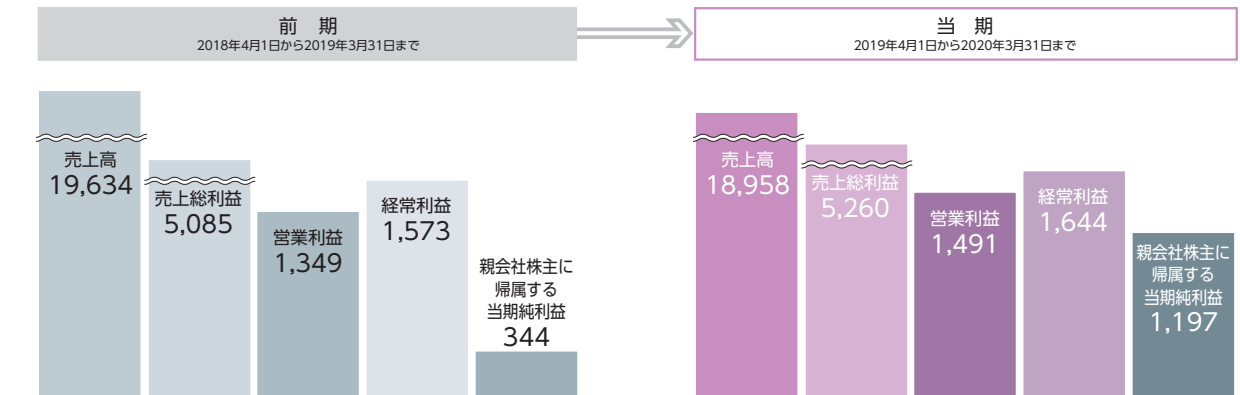
● 資産の部 (単位: 百万円)



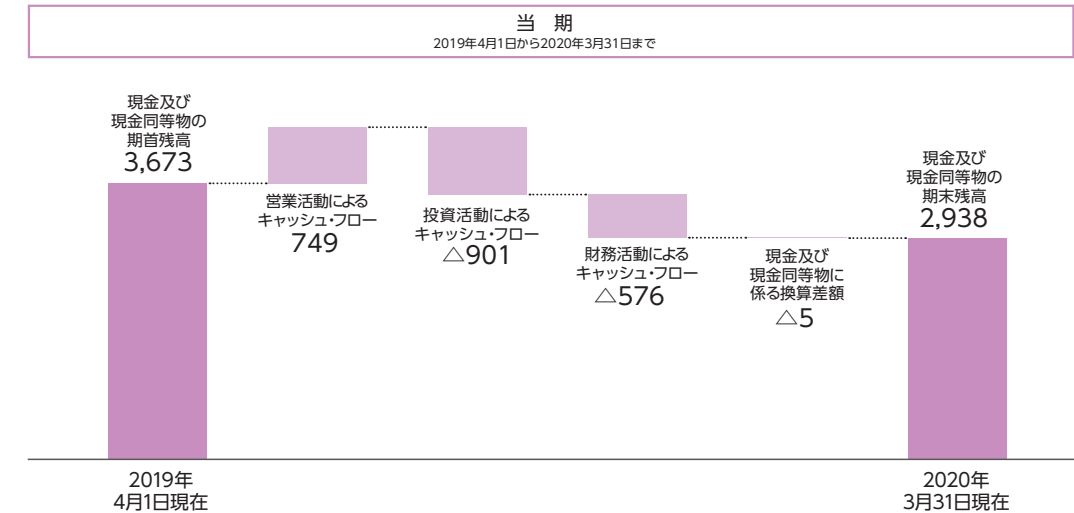
● 負債・純資産の部 (単位: 百万円)



連結損益計算書 (単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)



財務のポイント

● 資産

資産につきましては、流動資産で前期末に比べ10.4%減少し、9,479百万円となりました。これは主として現金および預金の減少等によるものであります。

また、固定資産につきましては、前期末に比べ3.7%増加し、12,011百万円となりました。これは主として投資その他の資産「その他」に含まれる長期貸付金の増加等によるものであります。

● 負債

負債につきましては、流動負債で前期末に比べ

26.1%減少し、3,152百万円となりました。これは主として買掛金の減少等によるものであります。

また、固定負債につきましては、前期末に比べ11.9%減少し、1,484百万円となりました。これは主として長期借入金の減少等によるものであります。

● 純資産

純資産につきましては、前期末に比べ4.0%増加し、16,853百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加等によるものであります。

会社概要

| | |
|----------|--|
| 商号 | フジ日本精糖株式会社 |
| 英文名 | Fuji Nihon Seito Corporation |
| 設立 | 1949年(昭和24年)7月 |
| 資本金 | 1,524百万円 |
| 従業員数 | 58名 |
| 本社所在地 | 〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号 電話 03(3667)7811(代表) |
| 清水工場 | 〒424-0924 静岡県静岡市清水区清開一丁目4番10号 電話 054(334)5353(代表) |
| 横浜共同生産工場 | 太平洋製糖株式会社 〒230-0053 神奈川県横浜市鶴見区大黒町13番46号 電話 045(501)0511(代表) |
| 子会社 | 協立食品株式会社 ユニテックフーズ株式会社 Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd. FUJI NIHON (Thailand) Co.,Ltd. DAY PLUS (THAILAND) Co.,Ltd. UNITEC FOODS KOREA Co.,Ltd. |
| 関連会社 | 太平洋製糖株式会社 マ・マーマカロニ株式会社 南栄糖業株式会社 |

役員 (2020年6月23日現在)

| | |
|-----------|-------|
| 取締役会長 | 船越 義和 |
| 代表取締役社長 | 櫻田 誠司 |
| 取締役常務執行役員 | 関根 郁也 |
| 取締役 | 菊地 正男 |
| 取締役 | 高橋 明彦 |
| 取締役 | 山口 佳仁 |
| 常勤監査役 | 福田 弘 |
| 監査役 | 上平 徹 |
| 監査役 | 坪 好教 |

執行役員

| | |
|--------|--------|
| 常務執行役員 | 大口 真央 |
| 執行役員 | 和田 正 |
| 執行役員 | 吉水 あつ子 |

監査法人

会計監査人 有限責任監査法人トーマツ

株式の状況

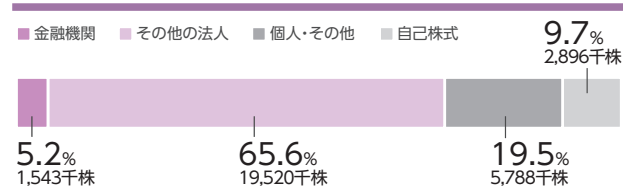
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 110,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 29,748,200株 |
| 株主総数 | 18,919名 |

大株主

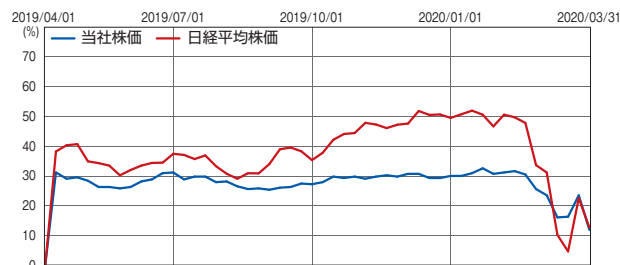
| 株主名 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|----------------|----------|----------|
| 双日(株) | 8,153 | 30.4 |
| 豊田通商(株) | 2,459 | 9.2 |
| 鈴与(株) | 1,902 | 7.1 |
| 和田製糖(株) | 1,197 | 4.5 |
| (株)静岡銀行 | 792 | 3.0 |
| (株)榎本武平商店 | 758 | 2.8 |
| 小倉運輸(有) | 669 | 2.5 |
| 新潟県砂糖卸荷受商業協同組合 | 600 | 2.2 |
| (株)サカタのタネ | 563 | 2.1 |
| 東京海上日動火災保険(株) | 447 | 1.7 |

(注) 持株比率は自己株式 (2,896千株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



比較チャート (2019年4月1日を基準日とした当社株価と日経平均株価の騰落率)



株主メモ

| | |
|------------------------|--|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日まで |
| 基準日 | 3月31日 なお、中間配当を行う場合は9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| 上場取引所 | 東京証券取引所 |
| 公告方法 | 当社のホームページに掲載いたします。 公告掲載URL https://www.fnsugar.co.jp/ |

(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

【お知らせ】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報や商品情報、社会貢献活動などさまざまな情報を掲載しており、ネットショッピングもお楽しみいただけます。また、パソコンだけでなくスマートフォンやタブレットからも閲覧しやすいレイアウトとなっておりますので、是非ご覧ください。当社は今後もウェブサイトの速報性を活かし、お客様・株主にさまざまな情報を発信してまいります。



フジ日本精糖 

<https://www.fnsugar.co.jp/>

株主ひろば

株主優待について

当社は、毎年3月31日現在で当社株式をご所有の株主の皆様へ、所有株式数に応じた自社製品詰合せを毎年6月に贈呈しています。本年の株主優待品は、1,000株以上ご所有の株主様、100株以上ご所有の株主様ともに自社製品詰合せの内容を変更しました。なお、株主優待制度に変更はなく、従来と同様に1,000株以上の株主優待品は3,000円相当、100株以上の株主優待品は1,000円相当の自社製品詰合せになります。

| | |
|----------|---------------|
| 100株以上 | 1,000円相当の自社製品 |
| 1,000株以上 | 3,000円相当の自社製品 |



1,000円相当の自社製品



3,000円相当の自社製品

 **フジ日本精糖株式会社**

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号
TEL : 03-3667-7811 <https://www.fnsugar.co.jp/>

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。